青年部学習会

『特別の教科 道徳』ってなんだろう？

日　時	：	１０月７日（日）　１４：００～１６：００
場　所	：	日本教育会館２Ｆ　東京教組内　会議室
参加費	：	無料

小学校で、道徳が教科化されて半年が経ちました。忙しさに追われながら、実践していく中で、困ったことや疑問に思ったことはありませんか？教科書を使って授業をしていくうちに、子どもたちの考えが一つに収束していくことに、違和感を覚えている方も多いのではないでしょうか。

来年度から、中学校でも道徳が教科化されます。この夏休みの時期に、各自治体で教科書採択をしました。中学校の教科書では、授業内容を数値化して自己評価するものがあったり、首相のスピーチを教材として掲載していたりと、いろいろな問題がありました。自分の勤めている自治体が、どの会社の教科書を採択したかご存知ですか？

さて、今回は、教員向けの研修会や市民講座の講師など、いろいろなところで講演をしている、宮澤弘道さんにお話を伺います。今更、誰にも聞くことができないような基本的な質問から、授業方法や評価方法など、実践的なお話まで聞くことができると思います。日頃、道徳の教科化に関心があまりなかった方も、疑問・違和感を抱えながら実践されている方も、もう一度、『道徳』について、ともに学び、ともに考えませんか？たくさんの方々のご参加をお待ちしています。

講師紹介：**宮澤 弘道（みやざわ ひろみち）** さん

東京都公立小学校教員。元青年部長、現多摩島嶼支部長。「道徳の教科化を考える会」代表。「季刊 福祉労働」編集委員（現代書館発行）２０１５年２月、「道徳の教科化を考える会」を立ち上げ、学習会を主催しながら、その問題点を整理中。論文：「『特別の教科 道徳』ってなんだろう？―その本質と評価について―」（「子どものしあわせ」１１月号通巻 801 号 本の泉社）、「『特別の教科 道徳』をどう受け止めるか」（月刊地方自治職員研修）１２月号通巻 705 号 公職研）ほか、「『特別の教科 道徳』ってなんだ？－子どもの内面に介入しな授業・評価の実践例」（編著 現代書館）がある。

お問い合わせ：東京都公立学校教職員組合　青年部　島田 秀眞（しまだ ほつま）
080-1323-8271　hokkun_1010@yahoo.co.jp